



地域教育協議会（有帆小学校）

有帆小学校の地域教育協議会に5・6年生が参加しました。それぞれが知・徳・体の部会に分かれて、学習習慣の定着、すすんであいさつ、メディアコントロールについて地域の方と熟議を行いました。子どもたちは初めて参加したためはじめ緊張していましたが、前もって考えていた意見を発表したり地域の方の質問に答えたりしていました。各テーマが自分たちのことなので、解決のための大人のアドバイスにうなづく場面もあり、真剣に考えている様子でした。このような対話が大人と子どもたちとの相互理解を深めます。



いもほり（埴生幼稚園）

うんとこしょ、どっこいしょ。埴生幼稚園の全園児が、6月に苗を植えたサツマイモを収穫しました。ロシアの民話の「おおきなかぶ」のように、つるをみんなで引っ張ったり、手を泥だらけにしながら土の感触を楽しんだりしました。手伝ってえ、わあー、とれた、見てえなどと歓声があちこちからあがり、おうちやレモン、バナナなどの形みたいと、友達や先生に満足そうに見せていました。収穫したサツマイモを全員で数えてみると127個もあり、スイートポテトや焼き芋にして食べたいとうれしそうに話していました。



山の学習（本山小学校）

本山小学校の山の学習が、竜王山を舞台にして行われました。今年は、焼野保育園年長児と保護者、地域の方も一緒に参加しました。頂上まではオリエンタリングをしながら登り、頂上では事前に捕獲したアサギマダラにマーキングをしてから、「行ってらっしゃーい」と澄み切った秋空に放しました。子どもたちは、どこまで旅をするのか楽しみに手を振り続け、「待ってるよー」と見送っていました。その後、登る途中で見つけた草花を使ってファッションショーをしました。地域の自然を生かした地域ぐるみの伝統行事でした。

